

JAISS Newsletter No.32

日本国際秘書学会

Japan Association for International Secretarial Studies

JAISS 日本国際秘書学会発行 2019.2.28

会長のごあいさつ

会長 高橋真知子



新しい時代を迎えようとする2019年春を皆様には、いかがお過ごしでしょうか。毎年年末近くになると巷で取りざたされるものに「流行語大賞」があります。2019年上半期トップは「平成最後の～」になるのではないかと思います。この頃です。こんなものにまで…と驚くような商品やイベントの接頭語として用いられ、時代の高揚感を盛り上げているようです。

そもそも、現在元号を用いる国は日本だけですが、改元期日を事前に知らされ、国中で準備するということは、めったに遭遇できない貴重な経験でもあります。この高揚感は、政治・経済・暮らし方・働き方のすべてにおいて、私たちが大きな時代の変化のウネリの中に在ることを感じているからこそ、倍増されているのではないのでしょうか。未来への不安・希望・期待を織り交ぜて心が高鳴るのです。それは、新たな社会が築かれる機会に参加できることであり、日常においては多様な新たな選択を強いられることになるのかもしれませんが。

昨年(2018年)の全国大会では、急速な技術革新により社会の基盤技術として浸透しつつあるAI技術に注目し、「AIと協働する秘書の役割と機能」を大会テーマに取り上げました。そして、秘書・サポート業務のこれからを展望するために、基調講演者として日本能率協会のエキスパート講師でいらっしゃる深代達也氏をお迎えし、「RPA*が進展する時代」についてご講演を賜りました。講演後、深代氏を交えて参加者の皆様との率直な意見交換ができたことは、大変有意義な時間であったと感謝申し上げます。

まさに変化の年に27年目を迎えたJAISSの活動に、引き続きご理解・ご協力を頂きながら、皆様の研究活動と会員交流の一助となるべく役員一同努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

*RPA:Robotic Process Automation ロボットによる業務自動化

第 27 回全国大会・通常総会 開催される

2018 年 10 月 27 日（土）に、大会テーマ：「秘書と AI —AI と協働する秘書の役割と機能—」とし、千葉県市川市の東京経営短期大学にて、35 名の方々にご参加いただき開催されました。



第 27 回全国大会ごあいさつ

第 27 回大会委員長
大塚 映（東京経営短期大学）

日本国際秘書学会 JAISS 第 27 回全国大会は、2018 年 10 月 27 日（土）、前日の強風が心配された天候も当日はすっかり好天に恵まれ、東京経営短期大学にて開催されました。

今大会のテーマは「秘書と AI —AI と協働する秘書の役割と機能—」として、グローバル化や AI 技術の活用が進む中での秘書の今後の方向性を探ることができた有意義な一日とすることができました。

午前には、高橋眞知子会長のご挨拶に続き、総会が行われ、質問等も出るなど活気あるものとなりました。総会の終了後はラウンジでの和やかな昼食タイム、諸先生から差し入れていただいた各地方の銘菓も美味しく楽しませていただきました。

午後からは、多岐における領域で 3 件の研究発表と、今大会のテーマと関連した内容で、長年に渡り人材育成や組織開発のコンサルタント業務など幅広く携わって来られた深代達也氏による基調講演、質疑応答のプログラムが進められました。講演では AI への理解を深め、これからの秘書・サポート業務の在り方を確信することができ、また、様々な観点からいくつもの質問が活発に出されるなど、大変充実した時間となりました。

今大会の開催に際し、全国からご参加いただいた会員の皆様や各方面でご活躍のビジターの皆様、また、大会委員を快くお引き受けくださり、準備から運営まで携わってくださった東日本支部の大会委員の皆様に、心より感謝申し上げます。

■プログラム

- 研究発表Ⅰ 「キャリア形成における課題 –キャリア教育の取り組みから–」
西村この実（比治山大学短期大学部）
座長：森山廣美
- 研究発表Ⅱ 「デートDV（恋人間暴力）に関する詳細調査の必要性」
四之宮玲子（日本大学）
座長：中川伸子
- 研究発表Ⅲ 「秘書の3類型とキャリア形成」
徳永彩子（熊本学園大学）
座長：藤村やよい
- 基調講演 「RPAが進展する時代、秘書・サポート業務の未来を考える」
深代達也 氏
（一般社団法人 日本能率協会 経営・人材革新センターエキスパート講師）
講師紹介：森 久子
- ディスカッション 基調講演者 深代達也氏を囲んでの質疑応答
コーディネーター：森 久子

■第27回全国大会 大会委員

- 委員長 大塚 映（東京経営短期大学）
副委員長 森 久子（東京家政大学）
委員 飯塚 淳（日本青年館）
伊藤理絵（岡崎女子短期大学）
上野真由美（名古屋女子大学短期大学部）
周藤亜矢子（茨城短期大学）
高橋真知子（名古屋経営短期大学）
原田昌洋（流通経済大学）

大会テーマ：「秘書とAI —AIと協働する秘書の役割と機能—」

基調講演

「RPAが進展する時代、秘書・サポート業務の未来を考える」

深代達也氏

(一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター エキスパート/講師)



今日のお話は、最近よく言われるRPA (Robotic Process Automation)の中での秘書について考えたものです。RPAとは、ホワイトカラーの単純な間接業務を自動化するデジタルテクノロジーのことです。デジタル革命、ビッグデータ解析、AI技術等が非常に進展しています。こういうテクノロジーの活用される背景が、非常に重要なと思います。

その中で、ブーカ (VUCA: Volatility (変動性・不安定さ)、Uncertainty (不確実性・不確定さ)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性・不明確さ)) がキーワードです。今まで生産性の向上だけだった中で、創造性の向上が非常に重要になっています。日本企業が社会価値を出していく中で、人とロボットの新しい役割分担を本当に真剣に考える時期になっているように思います。

ブーカワールドでは、企業のあり方とか、経営戦略のあり方が問われています。デジタル技術の進化によって、色々な機器や装置の性能が向上し、価格が下がり、使い勝手が良くなり、センサー技術、見る技術、聞く技術、話す技術、触覚の技術が進歩し、そしてビッグデータに接続して、どんどん機械学習する機器が増えます。これまで人手で対応していたことが機械でできるようになり、既存の大企業ではなく、新興の小さな企業がデジタル技術を駆使してデジタルディスラプションを起こしています。

ホワイトカラーの専門性の高い業務まで自動化可能になります。その結果、人とは何か、人の仕事とは何かという問い直しが始まります。そうした中で、企業は、今までの考え方を越えられる人、常識を越えられる人、これは違うのではと言える人、そういう人が欲しい。創造性の高い仕事にシフトしていきます。ロボットは基本的なことをやってくれるので、新しい役割分担を取っていくことが重要になります。

RPAに伴って、業務によっては99%近くが自動化されると言われています。逆に自動化されにくい業務もあります。重要なのは秘書が担う業務のうち何が自動化され易く、何がそうでないか、冷静に仕分けて将来を見通し、備えることです。

業務のうち定型的な反復業務や単純な判断業務は機械に代替されますが、きめ細やかなカルチャーに根ざす対人コミュニケーションや対人能力を必要とする職種は代替しにくいようです。卓越した社長秘書は、相手と社長との人間関係や、過去の経緯や、場面などを瞬時に察知して、高度な配慮や判

断をし、相手とアサーティブな交渉（場合によっては主張や反論も）をできるでしょう。そうした能力は現段階では代替することができません。

もう1つは、秘書の働き方です。旧来の会社内での秘書でなく、独立秘書ネットワークに登録して自分の得意を活かして働く働き方が登場しています。もはや会社にとらわれず、自分がどんな働き方をしたいかが問われる時代になっています。そういう意味で本当に社会感度を高めて、志を高くして、さらに人としての魅力を磨いていきましょう。

深代達也氏紹介： 民間シンクタンクにてヘルスケア領域のコンサルティング、及び、バランス・スコアカードや人事革新・組織活性を中心としたコンサルティング&人材育成に従事し、経営コンサルティング部長を経て「人と組織の可能性の最大化」を使命とする株式会社可能性コンサルタンツを設立。その後現職。

現在は、ベンチャーやベンチャーを支援しているメンターのネットワークを持ち、社会価値創造・イノベーション研究の視点からの組織診断、人と組織に関するコンサルティング、組織開発、会社・部門のミッション構築と共有、チームビルディング、リーダーシップ開発（女性リーダー育成を含む）などを推進し、セミナー講師も担当している。

主な著書：『“組織開発”の手引き』（共著、日本能率協会）、『オープンイノベーションが新たな未来をつくる』（共著、日本能率協会）、『KAICAする経営』（共著、日本能率協会）、他に執筆多数。

取得資格：

- ・米国 NLP 協会認定トレーナー、DiSC 公認インストラクター、Ocapa プラクティショナー
- ・米国 REMO 社 HealthRhythms & HealthRhythms Adolescent Protocol ファシリテーター
- ・“トレーニング・ビート”認定トレーナー、ドラムサークルファシリテーター協会会員

< 基調講演における全体的な質疑応答・ディスカッション >

基調講演者 深代達也氏を囲んで

コーディネーター：森 久子

基調講演者と会場参加者との活発な質疑応答と意見交換が行われた。
(詳細は「研究年報 26 号」に記載)



研究発表 I

「キャリア形成における課題 —キャリア教育の取り組みから—」

西村この実

(比治山大学短期大学部)



授業の展開の実践報告を通し、大学教育におけるキャリア教育は現場(企業)との接点を持たせることは大きな成果となり、現場を知り、仕事のやりがいを感じ、働き方の視点を持つという学びは、学校だけの学びでは出来ないキャリアの学びであり、学生にとり大きな自己啓発となる。学生が対自己基礎力を付け、就職活動へのモチベーションを持ち就職活動をすることは、離職率の低下にも結び付くのではないか。そのためには、教員が学生の現状を理解し、学生個々の集中力ややり抜く力の育成を大切にした指導が望まれる。また、在学中に社会の「本物」に触れさせる仕組みを構築し、「働くことの喜び」を伝えるとともに「世の中の実態や厳しさ」を伝えることもキャリア教育である。

男女共同参画社会において、どう社会に向き合い、学生たちの自己啓発を図り、ワークライフバランスを踏まえたキャリアや働くことの意味を考える取り組みを今後模索していきたい。

研究発表 II

「デート DV (恋人間暴力) に関する詳細調査の必要性」

四之宮玲子

(日本大学)



女性に対する暴力に関する社会的意識向上や施策立案・展開のための調査研究は、内閣府その他機関で実施されている。しかしデート DV (=Dating Violence) に関わる調査については、大学生・高校生間で発生件数が増加しているにも関わらず根本的な追究がなされていない。本発表では社会的環境・家族関係、パートナー観等を視野に入れた調査によって、対策・支援に繋げられることを目的とした。まず前述の調査を例とした結果、男女ともにデート DV 被害経験は若年であるが、配偶者間暴力を中心とした調査であるため、デート DV そのものに焦点が当てられていないこと、回答者の過去の被害経験に遡って回答せざるを得ないこと等の疑問が残された。そして、デート DV 加害行為者への調査を人権に十分な配慮をし、16 歳~22 歳 (高校・大学

生) を対象として、生活状況 (家族、友人関係、学習状況、ストレス有無・内容) から恋人に対して怒りを感じた状況まで詳細調査項目の検討を行った。

研究発表 III

「秘書の3類型とキャリア形成」

徳永彩子
(熊本学園大学)



先行研究をもとに、秘書の形態別にキャリアを詳説した。秘書のキャリアを秘書理論、キャリア理論、職場学習論の3点から分析することで、どのようなキャリアパターンを歩んでいるのか、秘書業務の四層理論からどの範囲の業務を担当しているのか、秘書の能力をどのように開発しているのか探究することを目的とした。方法として、2014年7月～2015年5月にかけて、秘書の形態別に秘書経験のある8名の方を対象として、半構造化面接を行った。そこで得られたテキストデータを4つに分類し、個人状況要因、上役に関わる要因、職場状況要因、家族状況要因として分析を加えた。

その結果、秘書職経験者のキャリアにおいては、特に職場状況要因や家族状況要因が大きな影響を与えていることがわかった。さらに、キャリアの節目において夢や目標を修正しながらキャリアを展開し、その中でメンター・サポーターとの出会いが重要であることもわかった。

報告事項

(1) 会員数の動向について

事務局より、会員数の動向および入退会者の状況について、下記の表の通り報告がなされた。

① 会員数

会員の種類	2017年度通常総会時	2018年度通常総会時
名誉会員	1名	1名
個人会員	81名	70名
学生会員	0名	0名
賛助会員	0名	0名
会員総数	82名	71名

② 入退会等状況（2017年度総会以降～2018年度総会時）（敬称略）

入会者：個人1名 天美柚紀

退会者：個人11名 小暮結花 北原文香 清水たま子 菅瀬君子 水原道子
寺島雅隆 植竹由美子 島田眞美 千田千花 藤井杏子
東出加奈子

なお、退会者の多くが、定年退職者であったことが説明された。

除籍者：個人1名 廣田伝次郎

審議事項

議案1 2017（平成29）年度事業報告ならびに収支決算について

2017（平成29）年度事業報告

平田副会長より、事業報告（2017年度 第26回全国大会含む）がなされ、異議なく承認された

(1) 報告の事業年度

2017（平成29）年6月1日～2018（平成30）年8月31日

(2) 報告の事業概要

①2017（平成29）年10月14日 第26回全国大会開催 会場：比治山大学短期大学部

担当支部：西日本支部

統一テーマ「グローバル社会に適合する人材育成」

大会委員長：西村この実

②2018（平成30）年3月26日 ニューズレターNo.31 発行

広報統括理事：藤村やよい

③2018（平成30）年8月1日 研究年報 25周年記念第25号発行（102ページ）

「記念特別寄稿」3編

「研究ノート」1編

「レポート」2編

「大会報告」第26回全国大会 報告 基調講演

編集委員長 福井愛美

編集委員 周藤亜矢子 串田敏美 吉田智美

(3) 役員会

理事会 14回開催（含サイバー会議13回）

(4) 各種委員会

- ① 第26回全国大会委員会 1回、サイバー会議多数開催（担当 西日本支部）
- ② 第27回全国大会委員会 1回、サイバー会議多数開催（担当 東日本支部）
- ③ 研究年報編集委員会 1回、サイバー会議多数開催

東日本支部会活動報告

東日本支部長 大塚 映

(1) 支部理事連絡会

- ・2017年10月 今年度の東日本支部活動の確認
第27回全国大会に向けての概要
- ・2017年12月 東日本支部活動の具体的内容について（サイバー会議）
第27回全国大会の概要について（サイバー会議）
- ・2018年1月 東日本支部活動の詳細について（サイバー会議）
第27回全国大会 準備委員会について（サイバー会議）

(2) 第27回全国大会準備委員会

- ・2017年12月 準備委員会委員の依頼
- ・2018年1月 準備委員会の発足
- ・2018年3月 準備委員会の開催
- ・2018年4月～ 大会委員会をサイバー会議にて適宜開催

(3) 支部研究会

- ・第1回 東日本支部研究会

日 時：2018年3月11日

場 所：東京ウィメンズプラザ

テーマ：「CBS（国際秘書）検定の現状と最近の傾向・受験対策」

西日本支部会活動報告

西日本支部長 兒島 尚子

(1) 支部会 日時：2018年8月25日（土）14時30分～16時30分

場所：大阪樟蔭女子大学 清志館

研修会名：アンケート調査の基礎～調査票の作成から統計分析まで～

講師：大手前大学 酒井健准教授

出席者数：13名

2017（平成29）年度収支決算・監査報告

西村会計担当理事より、2017（平成29）年度の収支決算報告がなされた。

去る9月30日に服部監事および加藤監事の立会いのもと監査を実施し、収支決算が正確であり適切に処理されたことが確認された旨、報告された。

また、会費の滞納や未納が多くあることから、次回から年会費の払込用紙を研究年報に同封することについて説明があった。審議の結果、異議なく承認された。

(1) 2017 (平成 29) 年度収支決算報告

日本国際秘書学会

2017 (平成 29) 年度一般会計収支決算書

(2017年6月1日～2018年8月31日)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	954,546	研究年報発行費	168,035
東日本支部繰越金	13,380	(印刷費)	158,933)
西日本支部繰越金	116	(諸経費)	9,102)
全国大会収益	16,709	印刷費	0
会員年会費	488,000	通信費	20,452
(個人会員 [含過年度分])	456,000)	広報活動費	0
(学生会員)	0)	消耗品費	4,816
(アソシエイト会員)	32,000)	会議会合費	21,350
雑収入	0	旅費交通費	19,420
預貯金利息	13	支部委託金	60,000
		雑費	2,721
		租税公課	200
		手数料	1,296
		分科会活動費	0
		特別活動費	0
		次年度繰越金	1,174,474
合計	1,472,764	合計	1,472,764

注) 第26回全国大会会計報告、各支部会計報告は含まれていない。

2018年9月10日

会計担当理事 西村 この実



※年会費未収入金： 216,000円

監査報告

私どもは、日本国際秘書学会の2017(平成29)年6月1日から2018(平成30)年8月31日までの期間の関係帳票および会計報告を監査した結果、上記収支決算書が正確であることを認めます。

2018年9月30日

監事 服部 基宏



監事 加藤 晴美



議案2 2018（平成30）年度事業計画ならびに収支予算案について

平田副会長により、事業計画案が提示され、異議なく承認された。

（1）2018（平成30）年度事業計画

1) 事業年度

2018（平成30）年9月1日～2019（〇元年）年8月31日

2) 事業概要

①2018（平成30）年10月27日（土） 2018年度通常会員総会の開催

②2018（平成30）年10月27日（土） 第27回全国大会開催

大会開催担当支部：東日本支部

開催会場：東京経営短期大学

大会委員長：大塚 映

③2019（平成31）年2月 ニューズレターNo.32 発行

④ 支部会・ワークショップ

東日本支部 1回程度開催予定

西日本支部 1回ほど開催予定

⑤役員会

理事会兼役員会 数回開催

⑥ 各種委員会

⑦ ・第27回全国大会委員会 2回開催（2018年10月27日開催）

・第28回全国大会準備委員会 開催（2019年10月開催 詳細未定）

全国大会に向けての準備委員会を発足

委員長・副委員長・委員を選任し委員の各担当を決定

大会事務局を設置する

・研究年報編集委員会 随時サイバー会議の開催

⑦今後の予定

・2018年度10月開催、第27回全国大会準備を進める。

・2019年度 全国大会へ向けて委員長、副委員長を決め、準備委員会を発足予定。

(2) 2018 (平成30) 年度収支予算 (案) について

西村会計担当理事より、2018 (平成30) 年度収支予算 (案) について説明がなされ、異議なく承認された。

2018(平成30)年度予算

(2018年9月1日～2019年8月31日)

収入の部			支出の部		
科目	2017年実績	2018年予算	科目	2017年実績	2018年予算
前年度繰越金	954,546	1,174,474	研究年報発行費	168,035	150,000
東日本支部繰越金	13,380	-	印刷費	0	10,000
西日本支部繰越金	116	-	通信費	20,452	20,000
全国大会収益	16,709	-	広報活動費	0	40,000
会員年会費	488,000	600,000	消耗品費	4,816	30,000
雑収入	0	-	会議会合費	21,350	50,000
預貯金利息	13	-	旅費交通費	19,420	120,000
			支部委託金	60,000	60,000
			雑費	2,721	20,000
			手数料	1,296	3,000
			租税公課	200	0
			分科会活動費	0	20,000
			新名簿作成費	0	30,000
			次年度繰越金	1,174,474	1,221,474
合計	1,472,764	1,774,474	合計	1,472,764	1,774,474

議案3 会則改定について

(1) 会則改定について

平田副会長より、会則第15条の改定について説明がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

(2) 研究年報 「投稿規定・執筆要領」の改定について

福井愛美前編集委員長より、研究年報「編集・投稿規定・研究年報執筆要領」改定について、改定の必要性和検討経緯の説明がなされた。審議の結果、異議なく承認された。

また、編集委員長の福井愛美先生（神戸女子短期大学）が任期1年を残し退任され、2018年度から道添栄一先生（愛知学院大学）が編集委員長に就任されたことが発表された。

閉会

議長により、11時45分に閉会が宣言され、散会した。

以上

2018年度 JAISS 理事・監事・事務局 名簿 (2018年10月27日総会承認)

	氏名	役職	所属
1	高橋 眞知子	会長	名古屋経営短期大学
2	平田 祐子	副会長	大阪国際大学短期大学部
3	西村 この実	会計 常任理事	比治山大学短期大学部
4	藤村 やよい	広報 常任理事	久留米信愛女学院短期大学
5	大塚 映	東日本支部長 理事	東京経営短期大学
6	兒島 尚子	西日本支部長 理事	大阪樟蔭女子大学
7	森 久子	理事	東京家政大学
8	福井 愛美	理事	神戸女子短期大学
9	服部 基宏	監事	服部経営事務所
10	加藤 晴美	監事	プール学院大学短期大学部
11	原田 昌洋	事務局	流通経済大学

「研究年報」編集委員長：道添栄一（愛知学院大学）
編集委員：周藤亜矢子 串田敏美 吉田智美

支部だより

【東日本支部】 東日本支部長 大塚 映

支部活動 計画

支部研究会

日 時：2019年6月頃の予定

テーマ：検討中

場 所：東京ウィメンズプラザ

◆会員の皆様へ

昨秋の第27回全国大会では多くの皆様にご参加いただき、無事盛会に開催することができました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今後また皆様のご活躍にお役に立てていただけるような研究会を開催して参りたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

【西日本支部】 西日本支部長 兒島尚子

支部活動 計画

(1) 第28回全国大会開催に向けて 大会準備委員会開催
2019年2月10日（日）ホテルグランヴィア19階リバーヘッド

(2) 西日本支部研究会
2019年5月または6月開催予定

(3) 全国大会開催に向けて 実行委員会開催予定
2019年7月または8月実施予定

(4) 全国大会
2019年10月 大阪にて 開催予定
(詳細は、後日メールでお知らせいたします)

◇会員のみなさま

西日本支部では、10月の全国大会に向け、大会委員長である四天王寺大学短期大学部 上田知美先生を中心に準備に取りかかっております。

みなさまにとりまして、有意義な大会となりますよう努める所存でございます。ぜひご参加賜りますようお願いいたします。心よりお待ち申し上げます。

事務局からのお知らせ

第 28 回全国大会開催（予告）

開催日時：2019 年 10 月 12 日(土)
開催会場：大阪市立大学
西日本支部主催

◎年会費納入のお願い

今年度（2019 年度）の年会費をまだ納入していただけていない方は、恐れ入りますが、お振込をお願いいたします。来年度の年会費納入のご案内は、全国大会のご案内時にお知らせいたします。

なお、2017 年度の総会決議によって、学会の事業年度は毎年「9 月 1 日～翌 8 月 31 日」に変更されました。それに伴い、**会費徴収時期も従来とは異なっております**ことをご承知おきください。

◎JAISS 研究年報の既刊号を販売しています。

購入希望の方は本部事務局までご連絡ください。（1 部 1,000 円）

◎会員情報の変更届について

ご住所、所属機関、連絡先等の変更がありましたら本部事務局まで、メールでご連絡ください。
本部事務局 E-mail: jaissjimukyoku@gmail.com Tel/Fax:082-229-8947（直通）

◎新入会員をご推薦ください。

入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。
<http://www.jaiss.sakura.ne.jp/nyukai.htm>

参考 <入会資格に関する内規>

入会資格は、次に掲げる要件のうちいずれか一つを満たすこととします。

- (1) 4 年制大学卒以上の学歴および専門分野における研究業績を有すること。
- (2) 4 年制大学卒業以上の学歴で研究業績がない場合は、実務経験 3 年以上であること。
- (3) 短期大学卒業の場合は、実務経験 5 年以上であること。
- (4) 高校卒業の場合は、実務経験 7 年以上であること。

日本国際秘書学会発行

本部事務局

〒732-8509 広島市東区牛田新町四丁目 1-1

比治山大学短期大学部 西村研究室内

Tel/ Fax:082-229-8947（直通）

E メール: jaissjimukyoku@gmail.com

ホームページ: <http://www.jaiss.sakura.ne.jp/>